

美しく尊い轍

愛知淑徳大学名誉教授 柳 五 郎

人は美しく尊い轍を自分で作るものである。昭和から平成になる節目の記念事業である愛知淑徳大学大学院英文学専攻開設で、ようやく最高学府までの形体が日の目を見た。

この将来計画は故小林素三郎学長・理事長の地道な事前準備が現実化したものである。英文学科では太田英雄先生を始め教職員の全学挙げての目的達成のための不断の努力が結実した轍である。

何事も一朝一夕に成るものはない。今の一瞬一瞬に最善を尽して自己疎外の哲理を実践し続ける持続力のある者のみか自分の、自分達の手で作った轍に美しさと尊さを観ることができる。

大学院生は細分化された特殊分野を専攻する研究者である。時代の趨勢で名称変更があろうとも、英文学の心髄・本質に向って初心貫徹に専心すべきである。本質は千差万別に表現されても、常に元のものに帰り黙して語らぬ存在となる。苦悩や焦燥は本質を知らぬ己が心から生れる。

御来光で新しい生命やその息吹を知り、天地の空間に神聖さと神秘さを知れば心身は浄化され自然に合掌する美しく尊い姿を全知的視点から観れば、そこに崇高美を知り永遠の生命を悟る境地に在りて起人となる。そのために必須の条件は創造的想像力と犠牲的献身的捧げる愛です。肯定・否定は岐路に立つ者の指針となる。若い時に苦勞しなさい。何時の日か宝となります。

大学院生開設 25 年記念号の原稿らしくないが、万象是師に徹し感謝の念で「今に生きる」者のために書きます。熟睡時間だけに制限して「豚^{ブタ}と寝る」を止め、次の言葉から再出発。Catharsis, Atractia (G.K.), Eudaimonia (G.K.), antonym, Dmniscient viewpoint, self-estrangement, animism, 梵我一如、そして、自作の万象是友と観水聴雨などの判じ物を思惟で再出発。

人生は Cerca trova[tʃéruka trɔ́və] (Italy): 英語の Seek and you will find. (Bible) である。自分の轍を自分で作りましょう。

チェルカ トローバ！ Each alone!

教え子の素敵な轍を作っている一人一人に Well done! Well done! と叫んで心の安らぎを得ています。ありがとうございました。